

松たけ山だより 発行：県民の森森の案内人の会

(担当 竹内・協力 川瀬)

今年度で2回目の開催となる「紅葉まつり」午前中より来場者の出足が好調で、各体験コーナーは、早々に予約がいっぱいになりました。

県民の森ミニバスツアーも午前・午後と1回ずつ沼と広場を中心に巡り、たいへん好評でした。

クラフト体験コーナーは、予定対応人数を大幅に超えましたが、対応していただいたおかげで、来場者の方は、たいへん喜ばれていました。

参加したスタッフから、事前に企画内容の説明が欲しかった。また、早めに終了して行事後に反省の機会があればなどの声がありました。

お疲れさまでした。



フォトコンテスト表彰式



やきいも体験

クラフト体験

紅葉まつり

第2回平成25年10月6日(日)開催

来場者 820名



金魚すくい



プチ物産展



きのこの菌打ち体験

森の寄せ植え教室

大人の休日 第4回 平成25年(10月17日(木))開催 参加者15名

地元作谷沢でクリスマスローズなどの花卉栽培をしている樋口規夫さんを講師に寄せ植えをつくりました。

耐寒性の宿根草を中心に10種類の花苗を準備いただきました。
樋口さんの素朴な語り口調と、花好きの参加者の方々とスタッフで、楽しい時間になりました。



スタッフに付いていただいた
小山さん、関口さん
ありがとうございました

- ・ツボサンゴ
- ・コバルトセージ
- ・アイビー
- ・ガーデンシクラメン
- ・カオリナデシコ
- ・ウインターコスモス
- ・チェリーセージ
- ・ユリオブスデージー
- ・ミニバラ
- ・ビオラ



林業まつり

10月19日(土)と20日(日)
二日間にわたり会員の方7名
に出迎いただき、コマ作りを
指導いただきました。

20日は雨の一日でしたが、懸命な対応にどのお子さんも満足そう
でした。(大きな声での呼び込みが効きましたヨ!)



松たけ山だより 発行：県民の森森の案内人の会
(担当 竹内・協力 川瀬)

くふうの心が見える作品

森の芸術祭

おひとり複数の作品がめだちました。
また、いずれも手数をかけた見応えある
作品があって、大変内容のあるものでした。
出展された皆さん 及び 声かけいただいた
佐藤さん、大武さん、御礼申し
あげます。

作者の顔がみえる



置物



森の音楽隊

苔で作った庭



炭ボール



ラベンダーの花籠



カブトムシ



リース



コウガオのランタン



山小屋



焼きこて絵



ふくろうの親子



花差し



ほくのお家



つかって
枝実葉 作品に再生



猿公園

森の芸術祭



老夫婦



やなせさん
ありがとう

この枝を
むっふの
お客さんへ



被災地への祈い



木板絵



木板絵



森の哲学者



壁かけ



木製カレンダー



創作花



ペロペロバー



小物入れ



ドンクワ花



草木染め



小枝鉤五



こぶの話



竹笛



三角でも四角でもまわる独楽



森の郵便受け



創作花



液浸標本



火打ち



小枝鉤五

松たけ山だより 発行：県民の森森の案内人の会

(担当 竹内・協力 川瀬)

アウトドア クッキング教室

H25. 11月3日(日)開催
実参加者9名・付き添い6名
総勢15名
講師：樋口・吉田
スタッフ：上野・田村・會田・金子

地元作谷沢より、アウトドアクッキングの講師として樋口隆さんと吉田律子さんをむかえサンマの燻製作り挑戦です！



天候に恵まれ、外にテーブルを出してサンマをさばき、燻製にするための準備をしました。

内臓をきれいに出して洗い、タコ糸をかけ、吊せるようにします。お腹は楊枝をわたし開いた状態にし、塩をふるまで、子供達も一人1匹さばきました。

前日準備し風乾した物は、段ボールスモーカーで煙をかけた後、フライパンで燻製にし昼食時に食べました。

自分たちでさばいた物は、段ボールでできたスモーカーに・・・電熱器の不具合で温度が上がらず時間がかかってしまいましたが、2匹目はきれいにスモークされていました。

待ち時間があつたので、散策に出かけましたが、思ったより早く仕上がり、急いで戻ってくることに・・・少し残念でした。

森の案内人・スタッフの方々からは、行事をすすめる上で、子供達が危なくないようサポートしていただき、散策では、子供達に楽しく植物について教えていただきました。ありがとうございました。

H25. 11月16日(土)開催
実参加者17名・付き添い4名
総勢21名
リーダー：會田
スタッフ：関口・小笠原

クリスマスリース づくり教室

年内最後の行事となったリース作りは、青空の広がるなかでの開催となりました。

リース作りの説明を受けさっそく作業に取りかかります。豊富な材料の中から、好みの物を選び、それぞれが個性的に仕上げました。

「家に帰ったらどこに飾ろうかしら」と、うれしそうに話されていて、充実した行事になったのでは、ないでしょうか。

